

# 病 院 開 設 事 前 協 議 書

(神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター)

様式 1

## 病院開設事前協議書

### 1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏 名		医籍番号		
住 所	TEL			
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区 分	開 設 ・ 管 理 ・ 勤 務		
	施設の種類	病 院 ・ 診 療 所	病 床 数	一般 精神 結核 床
	名 称			
	所 在 地			
	診 療 科 目			

(開設者が法人である場合)

法 人 の 種 類	国立大学法人	設立年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
名 称	国立大学法人神戸大学				
主たる事務所の所在地	神戸市灘区六甲台町 1 - 1				
代 表 者	氏名	武田 廣	住所		
法人の目的、事業	国立大学法人法に基づき、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。また、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名 称	所 在 地	病床数	備 考
	病院	医学部附属病院	神戸市中央区楠町 7 - 5 - 2	9 3 4	
自己資本比率 (医療法人の場合)					

## 2. 開設しようとする病院の概要

### (1) 基本的事項

名 称	神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター			
開 設 の 場 所	神戸市中央区港島南町一丁目 5 番地 1 号			
開 設 予 定 年 月	平成 29 年 3 月 1 日			
診 療 科 目	内科、外科、食道・胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、整形外科、麻酔科、放射線科、形成外科			
病 床 数	120 床 (一般 120 床) <整備計画> H29 年度：30 床、H30 年度：75 床、H31 年度：120 床			
	病床機能区分（医療法施行規則第 30 条の 33 の 2）による分類 (高度急性期 6 床、急性期 114 床、回復期 0 床、慢性期 0 床)			
特 色	神戸医療産業都市との連携を図りながら、以下の事業に努める。 ・がんに関する先進的外科治療の推進 ・先進的治療・革新的医療機器の開発拠点 ・医工連携の推進拠点形成 ・国際医療機関との先進的医療開発・研究・教育における交流拠点形成			
開設趣旨及び 病床数設定の考え方  ・ 提供する医療の内容 ・ 当該地域の医療事情 ・ 近隣医療機関との連携等	基準看護又は新看護の内容(予定)		10 : 1	
	療養病床設置の予定	有 ( 床 ) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	老人特定許可の予定	有 ( 床 ) ・ <input checked="" type="radio"/> 無
	規則第 30 条の 32 第 1 項の規定による特例		有 ( 号 床 ) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	神戸大学医学部附属病院を中心に、神戸大学の関連病院とも患者紹介・逆紹介の体制を構築するとともに、人材交流も進める。			
敷 地 の 状 況	面 積	6,395.00 m <sup>2</sup>		
	自己所有予定 の 場 合	取得の状況	取 得 済 ・ 取得交渉中 ・ 未 交 渉	
		交渉状況		
	自己所有予定 でない場合	所 有 者	所有者である神戸市から賃貸借予定	
		使用形態	<input checked="" type="radio"/> 賃貸借 ・ その他 ( )	
他法令解除 の 必 要 性	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 内容 [ ]			
建 物 の 状 況	構 造 概 要	鉄骨造 8 階建 延床面積 13,258.46 m <sup>2</sup>		
	所有 予 定 者	国立大学法人神戸大学		
	自己所有予定 でない場合の 使 用 形 態	賃貸借 ・ その他 [ ]		

状 囲 の	交通機関	(最寄駅) ポートライナー 医療センター (市民病院前) 駅
	近隣の状況	ポートアイランド第2期に位置し、兵庫県立こども病院、神戸市立医療センター中央市民病院等と近接している。また、予定地から3km圏内(ポートライナーで約6分)に神戸空港が位置している。

(2) 施設及び構造施設に関する事項

法 定 施 設	診 察 室	4ヶ所 63.21 m <sup>2</sup> (4室の合計) (科目:内科、外科、食道・胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、整形外科、麻酔科、放射線科、形成外科)		
	処 置 室	1ヶ所 88.153 m <sup>2</sup> (科目:診察室と同じ)		
	手 術 室	5ヶ所 329.259 m <sup>2</sup>	臨床検査施設	1ヶ所 73.807 m <sup>2</sup>
	エックス線装置	一般撮影装置、X線TV透視装置、X線移動型装置、CTスキャナー		
	調 剤 所	1ヶ所 71.512 m <sup>2</sup>	消 毒 施 設	1ヶ所 56.134 m <sup>2</sup>
	給 食 施 設	1ヶ所 180.307 m <sup>2</sup>	洗 濯 施 設	1ヶ所 18.726 m <sup>2</sup>
	給 水 施 設	加圧給水方式	暖 房 施 設	外気処理空調機+パッケージエアコン併用方式
	汚物処理施設	4ヶ所 67.904 m <sup>2</sup>		
	分 べ ん 室	ヶ所 m <sup>2</sup>	新生児の入浴施設	ヶ所 m <sup>2</sup>
	機 能 訓 練 室	ヶ所 m <sup>2</sup>	談 話 室	ヶ所 m <sup>2</sup>
	食 堂	ヶ所 m <sup>2</sup>	浴 室	ヶ所 m <sup>2</sup>
病 室	ICU 1床室	6室 148.303 m <sup>2</sup>	ICU 除く 1床室	54室 1082.1 m <sup>2</sup>
	4床室	15室 608.1 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>
	床室	室 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>
その 他 の 施 設				
階 段、 エ レ ベ ー タ ー	室内直通階段	2ヶ所、 幅 1.2m、 蹴上げ 19.0 cm、 踏面 25.0 cm		
	避 難 階 段	2ヶ所	エレベーター	5ヶ所
設 備	放 射 線 関 係	診療用エックス線装置	有 ( 直接撮影装置、間接撮影装置 透視装置、CTスキャナー、その他 ( ) ) ・ 無	
		診療用高エネルギー放射線発生装置	有 ( 直線加速装置、ベータトロン、 (リニアック、ライナック)、その他 ( ) ) ・ 無	
		診療用放射線照射装置	有 ( 60Co 照射装置、 <sup>125</sup> I 骨成分分析装置、 その他 ( ) ) ・ 無	
		診療用放射線照射器具	有 ( 管、針、球、ビーズ、板、アプリケーション、 その他 ( )、使用核種 ( ) ) ・ 無	

	診療用放射線 同位元素	有〔（使用核種）〕・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>		
	臨床検査施設	各種検査設備 検体検査・超音波検査・心電図検査・脳波検査	消毒施設	高圧蒸気滅菌装置・酸化エチレンガス滅菌装置・過酸化水素ガス滅菌装置
	消防用施設	スプリンクラー・補助散水栓・泡消火・連結送水管・消火器等	防火施設	防火戸・防火ダンパー
	その他の施設			

(3) 人員に関する事項

管理者	氏名	味木 徹夫	医籍番号	
	住所			
	主たる経歴	平成19年4月 神戸大学医学部附属病院 肝胆膵外科診療科長補佐 平成21年4月 神戸大学大学院医学研究科 地域医療ネットワーク学分野 特命教授 平成26年4月 神戸大学医学部附属病院 病院長補佐, 医療の質・安全管理部長		

人員配置計画							
職名	必要数	予定数	確保済人員	職名	必要数	予定数	確保済人員
医師	8	33	5	薬剤師	2	5	2
看護師	41	115	18	栄養士	1	2	1
准看護師	0	0	0	放射線技師		5	2
看護補助者	0	0	0	調理師		0	0
臨床(衛生)検査技師		5	2	事務員		10	10
理学療法士		0	0	その他		18	2
作業療法士		0	0	計	52	193	42

(4) 人員算定根拠 (計算式)

[設定条件] 病床数 120床

1日平均外来患者想定数 10人

1日平均外来取扱い処方箋想定数 10件

<医師>  $[ \langle 120 \text{床} + (10 \text{人} / 2.5) - 52 \rangle / 16 ] + 3 = 7.5 \text{人} \approx 8 \text{名}$

<看護師>  $(120 \text{床} / 3) + (10 \text{人} / 30) \approx 41 \text{人}$

<薬剤師>  $(120 \text{床} / 70) + (10 \text{件} / 75) \approx 2 \text{人}$

<栄養士> 病床数 100以上の病院に1人

(参考) 病床数及び人員配置計画

職種	平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	必要数	予定数	必要数	予定数	必要数	予定数
病床数	30床		75床		120床	
1日平均外来患者想定数	1.4人		3.6人		10人	
1日平均外来取扱い処方箋想定数	1.4件		3.6件		10件	
	必要数	予定数	必要数	予定数	必要数	予定数
医師	3	14	5	29	8	33
看護師	11	30	26	78	41	115
薬剤師	1	2	1	3	2	5
診療放射線技師		2		3		5
臨床検査技師		2		3		5
栄養士		1		2	1	2
その他		13		21		28

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	平成 28 年 8 月 9 日、兵庫県医師会に概要を説明した。 平成 28 年 9 月 5 日、神戸市医師会に概要を説明した。 平成 28 年 10 月 11 日、神戸市中央区医師会に概要を説明した。 平成 28 年 10 月 14 日付文書により承認済み。
市保健医療審議会 医療専門分科会	平成 29 年 1 月 19 日、神戸市保健医療審議会医療専門分科会に出席・ 審議の上承認を得る予定。
その他	平成 28 年 5 月 20 日、神戸市に概要を説明 平成 28 年 8 月 5 日、厚生労働省に概要を説明 平成 28 年 12 月 14 日、厚生労働省より了承通知

注) 地元医師会、医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

平成 28 年 10 月 14 日

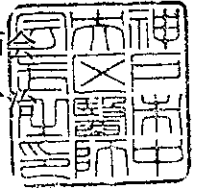
神戸大学医学部附属病院長

藤 澤 正 人 殿

このたび「神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター」の設置についての経緯を貴院よりご説明頂き、神戸市中央区医師会におきまして協議させて頂きました。

神戸大学医学部附属病院は神戸市内で唯一の大学附属病院であり、ポートアイランドにおいて新たな附属病院を開設されることで、更なる高度医療を進めて頂くとともに、他の医療機関と連携し地域医療にも貢献して頂きますようお願い申し上げます。

神戸市中央区医師  
会長 林 省





## 新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター	所在地	神戸市中央区港島南町一丁目 5 番地 1 号		
電話番号		二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

### 1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

#### (1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

がんに関する先進的外科治療を中心とした医療を提供する。

診療科目：内科、外科、食道・胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、整形外科、麻酔科、放射線科、形成外科

#### (2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

がんに対する先進的外科手術を中心に見据え、幅広く国際的に最先端の知見、技術の応用を探索、推進することを目的とした診療を展開し、より高い根治性を実現するとともに、生体機能が十分に温存される低侵襲で合理的ながんの外科治療を確立することを目指す。

医療用レーザー機器、内視鏡システム、手術用顕微鏡等の最先端設備を整備するとともに、医師・看護師をはじめ臨床工学技師等の医療スタッフについても適切に配置する。

### 2. 当該診療圏域の状況

#### (1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸	兵庫県全域

#### (2) 患者の特色及び医療ニーズについて

がんは、わが国における死亡原因の第一位（約 37 万人：厚生労働省、平成 27 年人口動態統計（確定数）の概況）であり、国立がん研究センターによる、平成 28 年のがん統計予測では、罹患数予測が 101 万 200 例で、100 万例を超える予測結果が算出されている。

兵庫県においても、がんは死亡原因の第一位であり、全死亡者のうち 3 人に 1 人ががんで死亡している。

医学部附属国際がん医療・研究センターは、地域がん診療連携拠点病院でもある、神戸大学医学部附属病院と連携し、主として先進的外科手術を中心とした医療の提供を担う。

(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
神戸市立医療センター中央市民病院	708 床	37 診療科	中央市民病院は救命救急センターとしての機能も有する神戸市民のための病院として、機能分担を行う。	
神戸大学医学部附属病院	934 床	35 診療科	神戸大学医学部附属病院は、特定機能病院及び地域がん診療連携拠点病院であり、機能分担を行う。	
神戸低侵襲がん医療センター	80 床	19 診療科	神戸低侵襲がん医療センターは、放射線治療を中心としたがん医療を行う病院であり、機能分担を行う。	

② 診療所の状況について

[ - ]

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

1日あたりの患者数として、入院 120 人程度 (休日除く)、外来 10 人程度を予定。  
がんの罹患数予測からみて、患者数は入院・外来ともに増加が見込まれる。

2. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

根治を目指したがん局所制御法としての先進的外科手術を中心に見据え、幅広く国際的に最先端の知見、技術の応用を探索、推進することを目的とした診療を展開していくことにより、より高い根治性を実現するとともに、生体機能が十分に温存される低侵襲で合理的ながんの外科治療の確立を目指す。

(2) 医療機関との連携

医 療 機 関 名	内 容	具 体 例	医 療 機 関 名	内 容	具 体 例
兵庫県内の大学病院・公的病院及び民間病院	① ～⑦	各病院の特性に応じた患者の照会及び逆紹介	兵庫県内の各医療機関	①～⑦	

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
指定居宅介護支援事業者	患者が退院後も必要なサービスを受けることができるよう調整	
障害者地域生活支援センター		
訪問看護ステーション	治療終了後も、何らかの支援が必要な患者に対して、退院後、安心して在宅で療養生活が遅れるよう調整	
保健所等	検診後の要精査患者の受入れ、各種保健活動への講師派遣等医療情報提供	

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設（老人関係、精神関係、身障関係）等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加（住民の健康管理等）

公開講座・セミナー等のがんに関する啓発活動を中心に行う。

4. その他の特記事項

{ }

## 開設に要する資金

資金計画

(単位：千円)

項 目	所 要 額	自己資金	借 入 金			備 考
土地購入費						神戸市から賃貸
設計管理費						
建物建設費	1,344,000	1,344,000				建物購入費
医療機器購入費						リースで準備
什器備品購入費						リースで準備
保証金						
諸税						
開設時運転資金	106,000	106,000				
その他費用	建物改修	100,000	100,000			
	電子カルテ	300,000	300,000			
計	1,850,000	1,850,000				

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据 置 期 間	償還回数 年回×年	利 率 %		年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合 計				元本					
				利息					
年度末借入金残額									

## 損益的収支予算書（総括）

（単位：千円）

	初年度 (29年4月～30年3月)	次年度 (30年4月～31年3月)	3年度 (31年4月～32年3月)	4年度 (32年4月～33年3月)	5年度 (33年4月～34年3月)
I 医業収益	692,000	1,754,000	2,758,000	2,800,000	2,800,000
II 医業費用	1,148,000	2,076,000	2,807,000	2,794,000	2,794,000
医業利益(医業損失)	-456,000	-322,000	-49,000	6,000	6,000
III 医業外収益	470,000	360,000	90,000	40,000	40,000
IV 医業外費用	0	0	0	0	0
經常利益(經常損失)	14,000	38,000	41,000	46,000	46,000
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損益	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	14,000	38,000	41,000	46,000	46,000
当期純利益(当期純損失)	14,000	38,000	41,000	46,000	46,000
前期繰越利益(前期繰越損失)	0	14,000	52,000	93,000	139,000
当期末処分利益(当期末処理損失)	14,000	52,000	93,000	139,000	185,000

## 資本的収支予算書

（単位：千円）

	初年度 (29年4月～30年3月)	次年度 (30年4月～31年3月)	3年度 (31年4月～32年3月)	4年度 (32年4月～33年3月)	5年度 (33年4月～34年3月)	
資本的支出	建設改良費					
	借入金（元本）償還					
	固定資産購入費その他	80,000	98,000	96,000	101,000	101,000
	計	80,000	98,000	96,000	101,000	101,000
財源内訳	内部資金	80,000	98,000	96,000	101,000	101,000
	借入金					
	補助金					
	その他					
	計	80,000	98,000	96,000	101,000	101,000
財源不足額	0	0	0	0	0	